

多摩区制50周年記念事業講演会「日中戦争からウクライナ戦争を考える」 ごあいさつ

メタデータ	言語: ja 出版者: 明治大学平和教育登戸研究所資料館 公開日: 2023-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤井,智弘 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/0002000179

イベントの記録

多摩区制 50 周年記念事業講演会「日中戦争からウクライナ戦争を考える」 ごあいさつ

藤井 智弘
多摩区長

皆様こんにちは。ただいまご紹介いただきました多摩区長の藤井でございます。多摩区制 50 周年記念事業の講演会が、このように大勢の皆様のご参加のもと開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また本日はお招きいただきましてありがとうございます。

多摩区は、今年の 4 月に区制 50 周年を迎えました。これもひとえに皆様をはじめ、これまで区政に携わっていただいた多くの方々のご尽力と、区民の皆様の多大なるご支援とご協力の賜物であると深く感謝を申し上げます。

皆様ご存じのとおり多摩区は多摩川、生田緑地など自然が豊かで、そして日本民家園、かわさき宙と緑の科学館など魅力的な施設があり、そしてここ明治大学をはじめ 3 つのゆかりのある大学があるなど非常に地域資源が豊富な場所でございます。また今後でございますけれどもスポーツの拠点施設であるフロントタウン生田の開設、それから登戸周辺の区画整理、向ヶ丘遊園跡地の利用計画など、ますます街の発展が期待できるところでございます。そして地域における各団体や個人の方々のご活躍や繋がりも大変活発でございます。このように魅力がいっぱいある多摩区の区制 50 周年を皆様とともに祝い盛り上げるために、記念事業を公募いたしましたところ、その内の一つとして登戸研究所保存の会の皆様から、本日の講演会を含む企画事業の申し込みをいただきました。本日の講演会ではタイトルにウクライナ戦争というような言葉も出ておりますけれども、私もこの時代に、このような戦争が起きるとは思っておりませんでしたので非常にショッキングな出来事だと思っております。8ヶ月が経とうとしている今も終わりが見えず、また核兵器の使用を示唆する発言もなされています。

ここ明治大学のキャンパス内には明治大学平和教育登戸研究所資料館が併置されており、これまで市民の方、学生の方が平和について学ぶ機会を得ています。戦後 77 年が経ち、戦争を経験した世代が少なくなっている現在、戦争の悲惨さや愚かさについて、各々が認識をして次の世代へ引き継ぐための非常に貴重な取組であると考えております。

本日は区の歴史遺産であるこの登戸研究所、また地域の歴史に触れることで改めて平和の大切さを学んでいただくとともに、地域へのさらなる愛着を持っていただければと思っております。

藤井 智弘

多摩区は区制 50 周年でございますけれども再来年には川崎市が市制 100 周年を迎えます。このように区制 50 周年，市制 100 周年と節目の年が続きますので皆様とともに盛り上げて参りたいと思っております。結びになりますが，本日お集まりの皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。